

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (15時20分)

一般質問を続けます。受付番号第7号、飯田一君の一般質問を許します。登壇願います。

6 番 飯 田 議長のお許しが出ましたので、一般質問をさせていただきます。受付番号第7号、質問議員、第6番 飯田一。件名、松田町に入込客を増やすために。

要旨、どこの町でも人口減少に悩んでいます。松田町でも人口が1万1,000人を割ろうとしています。人口増加を果たすためには、松田町に人を呼び込み、町を知ってもらうことが大事なことと考えます。そこでお尋ねします。

寄地区には「やどりき水源林」があります。ここには県の成長の森があり、森林セラピーも体験でき、毎週土曜日・日曜日には、森林インストラクターが案内をしてくれます。

しかし、松田町を紹介する観光パンフレットには紹介されていません。町も県と一体になり、一つの観光スポットとして広報を強力に推進することにより、さらに入込客の増加が図れると思います。「やどりき水源林」をどのようにお考えですか。よろしくお願いいたします。

町 長 それでは飯田議員の御質問にお答えをさせていただきます。やどりき水源林はスギ、ヒノキの人工林やケヤキ、クヌギなどの広葉樹林を一つの場所で見ることができ、比較的交通の便のよいところに位置していることから、水源の森林づくりを見て学ぶ、体験する、交流する場とされております。水源林全体の面積は人工林247ヘクタール、広葉樹林等282ヘクタール、合わせて529ヘクタールであります。やどりき水源林では成長の森事業が神奈川の森林再生のための取り組みとして実施されております。この事業は赤ちゃんのお誕生を記念し、その健やかな成長と苗木の成長を重ね合わせ、いつまでも愛着を持って親しんでいただけるよう、子や孫の誕生した御家族から苗木を寄附していただき、御家族等で植栽を行った森を「成長の森」と名づけ、お子さんの名前を記した銘板を設置するとともに、参加者の現地見学会を実施する森林再生事業であります。

この成長の森事業は平成19年度から平成24年度まで実施されていましたが、平成25年度以降は植栽場所がなくなったことから実施されておられません。現在

では、これにかわる事業といたしまして、かながわトラストみどり財団主催により3月から11月までの間の毎週土・日に神奈川県森林インストラクターによる水源林ミニガイドが年78回、「やどりきの森へ行こう」のイベントが年に3回、さらには近年は8月に開催されておる約400人規模の集客が見込める「やどりき水源林のつどい」が開催され、ほとんどの方が町外から来られているということでございます。

さて、御質問の松田町を紹介する観光パンフレットには紹介されていないとの御指摘をいただきましたが、平成26年8月発行のハイキングガイドブックの中では「水源の森林」と記載されておりますが、事業概要までは触れておりませんでした。また、平成28年8月発行の「ようこそ松田町観光ガイドブック」では、現存する観光資源の利活用を図る必要があることから、「やどりき水源林・森の案内人」について観光資源の一つとして記載してるところでもあります。この2つのガイドブックにつきましては、本年8月の改訂発行に向けて現在校正作業を進めておりますので、交流人口増加を図るため、農林業と連携した観光事業を進めていくためにも、「やどりき水源林・森の案内人」事業は不可欠となりますので、今後も同ガイドブックの内容を更新しつつ掲載し周知してまいりたいというふうに考えております。

現時点での周知方法といたしまして、かながわトラストみどり財団発行「平成29年度やどりき水源林・森の案内人」のパンフレットを寄自然休養村管理センターやドッグランに配置するとともに、町ホームページからかながわトラストみどり財団のホームページにリンクして町内外の方にPRできるよう対応しています。また、町といたしましても、やどりき水源林を訪れる町外の方々が多くおられますので、松田町や寄地域を知っていただき、再度訪れていただくための大きなチャンスと捉え、ミニガイドや水源林のつどいの開催日に町の観光ガイドブックやイベント情報のチラシを配布させていただき、水源林イベント参加者の方が町内の観光施設に立ち寄っていただく機会とすることができれば、新たな観光客の開拓が可能となります。

また、毎日使う水を安定的に確保するためには、水源林、水源地域の森林が元気で活力あることが大切になることを町でも啓発するなど、お互いが協力し

合うことにより相乗効果が図れるよう関係を密にして、さらなる観光事業の推進を図ってまいりたいというふうにも考えております。今回御提案いただきまして、まことにありがとうございました。以上です。

6 番 飯 田 どうもありがとうございました。もう私が聞きたいこと、かなりの部分で御回答いただいたわけなんですけど、私がですね、特に感じるのは、県のほうではですね、いろんな、合庁へ行くと「やどりき水源林ニュース」とかですね、みどり財団のやどりき水源林のパンフレットが置いてあるんですよ。それで、じゃあ松田町はどうかっていいますと、管理センター行っても何にもないですね、水源林に関するパンフレット類は。それとあと、町の庁舎内にもないです。それで、確かに、寄のこの紹介するハイキングコースとか何とかね、これには出てるんですけど、本当に文字だけですね、「やどりき水源林」っていう。これをもう少しですね、今、例えば、このページ見ますとですね、宮地山・シダゴハイキングコースとかいろいろ寄のハイキングコースが載ってるんですけど、その中でもですね、このやどりき水源林、ここはですね、Aコース、Bコース、コースがこうあるんですけど、またさらにですね、今は秦野峠林道、寄大橋から、以前、県へ貸してあった青少年のキャンプ場、あのちょっと上から今度横へずっと入っ行くと、その一番中心というか、いい場所へ抜けられるわけなんです。そういうふうなコースをですね、網羅した案内をですね、町のほうでも、県でもいいですから、つくってもらえないかなと。

とにかく、私が思うのはですね、もう県のほうで、私なんか見た限り、すごく整備したような形でその遊歩道とか何とか全部つくってくれてるんですね。それで、ことしもですね、年に何回か大きい事業があるんですよ。もう終わったんですが、6月3日はですね、緑したたる森で癒し体験ということで、これは森林セラピーですよ。そういうものを体験してもらおうというふうな企画をとってます。それで、括弧してですね、免疫力アップ、森の中でリラックスと、そういうふうな形でね、この日はですね、新松田から寄大橋、赤い大橋が奥のほうにあるんですけど、そこまでバスが直通で出てますね。それと交通費、バス代も620円、ちょっと100円高いんですけど、そこまで乗せてってもらえると、募集人員30名ってなってるんですけど、その後、ちょっと確認してないん

ですけどね、そういうようなことをやっていると。

それともう一つはですね、これからはですね、10月21日、家族で森のお手入れ体験、これは、これも申し込み制だと思うんですけど、これはちょっとね、山へ行って植林か何かするのかなと思うんですけど。それともう一つ、来年の3月17日はですね、群生するミツマタの開花を観察というふうなことで、年にこのような事業が森林インストラクター、これNPO法人らしいんですけど、松田町ではですね、今度、湯の沢の自治会長の古舘さんがメンバーということで、ちょっと聞きましたら、森の案内人ということで土曜日・日曜日は必ず誰かがあそこ待機してるんだと。それで、どのくらい来るんですかっていう話聞いたら、まあ1回、午前10時と午後1時にやるんですけど、まあ二、三人かなっていうふうな話なんですね。ぜひ、町のほうでも後援してですね、人が大勢入るようになれば、そのインストラクターで説明する人もですね、また熱が入ると思うんですね。またそのうち寂れて、誰も、インストラクターがせっかく待機してるのに人が来ないというふうになれば、県のほうでもですね、じゃあそれはやめようかっていうふうなことになりかねないんで、ぜひ、町のほうも後援して人の入込客をふやすためのですね、応援をしてもらいたいというふうに思います。

それとあと一番のイベントはですね、やどりき水源林のつどいというふうなのが、毎年行われまして、ことしは8月の初めのほうに予定されているみたいなんですけど、ホームページ見ましたら、去年の結果報告っていうのが出てまして、497名の去年は参加があったというふうなことね、いろんな見てますと、寄のほうの保存会のほうの太鼓とか笛の演奏があったりですね、あと地元の野菜を販売したりというふうなね、そういうふうなこともかなりやってるみたいなんですけど、共催っていうのがですね、松田町になってるんですね、これ見ますと。だけど、実際、松田町はね、今まで、この共催ってなってるんですけど、ホームページ見ても、町のホームページ見ると何も出てこないわけですよ。例えば、いつどいうのがあるよというふうな内容の案内も出てないし。それで実際、これはどういうふうな形で共催っていうね、ただ名前だけなのか、実際何かやってられるのかどうか、ちょっと、わかりましたら教えていただき

たいんですけど。

観光経済課長　ただいま御質問いただきましたやどりき水源林のつどいのですね、町が共催ということで、今、主催のほうは、先ほどお話ししていただきましたインストラクター協会のほうが実施のほうを行ってるわけなんですけど、町のほうはやはり職員を2名その日に、水源林のつどい等に出席をさせまして、中の駐車場管理とか、また中の準備等へやるような形で町のほうも協力しておりますが、ただ、今御指摘いただきましたそのPR、周知につきましては、町の広報等の中でPRはしてるかと思うんですが、ただ、ホームページ等の中に、その水源林のつどいそのものが見当たらないというような御指摘もありましたので、今年度については、同じような形で対応させていただきたいと思っております。

また、ちょっともう1点ですが、先ほどの6月3日の「やどりきの森へ行こう」につきましてはですね、ちょっと私のほうも、ちょっと現場のほう、私も参加させていただきましたので、出席、横浜とか川崎のほうから来られた方が26名、それからインストラクターの方が6名ぐらい入れて、合わせて31名の方の中で班編成をされて、先ほどおっしゃっていただきました、癒やしの森という形で、いろんな、寝て、ブルーシートの上に寝て、森林の中で寝て、下から杉林を見てみるとか、または、滝郷の滝で水で感じてみるとか、そういうような形の体験が行われて、皆様いろいろ、やっぱり横浜・川崎の方がやはり興味があるということで、やはり、非常に皆さん楽しんでやっていられたので、あわせて町のパンフレットもですね、皆さんお一人お一人に我々のほうから渡させていただいて、ぜひ、また次の機会にもぜひ町のほうにも来てくださということで御挨拶等もさせていただきながら、個別にパンフレットも渡させていただきました。以上です。

6 番 飯 田　共催ということでね、そういう活動をしてるということはわかりましたけど、やっぱり、私が強く言いたいのはですね、町がPRしてもらいたいんですけど、町として。というのは、もう何もやることないわけですよ。町は宣伝だけしてれば、人がどんどんどんどんね、入ってくるという感じでしょうね、早い話が。今まで何もやってないんですから、やればそれだけの効果が必ず出てくると思うんですけど。例えば、何人かっていう、今は26名の参加がありましたっていう

話だったんですけど、町は全然募集も何もかけてないしPRもしてないわけですよ。ホームページ見たり、例えば、そういう県の施設みたいなどでパンフレット見て、これいいなと思って申し込んだ人がほとんどだったと思うんですけど。そういうふうな意味でね、町がもっと、町でそういう行事があったら、パンフレットを町庁舎内にも置くとかですね、あるいは管理センターの中に置くとかして、もっと寄にも、たとえ山行った人がバス乗るために戻ってきたときにね、時間があるからってということで、そういうパンフレットを見てですね、こういういいところもあるのかというふうなことで、また来てもらえれば、どんどんどんどん認知されて人もどんどんふえていくんじゃないかと思うんですね。

また、人がふえれば、その中から寄っていいところだから住んでみようかなとか、あるいは松田町いいところだからちょっと住んでみようかなっていうふうなね、ものにつながればいいなと、必ずしもそうはいかないかもしれないんですけどね。だけど、そういうふうなことをして、ふだんからでもですね、あそのエリアに人が集まるようになれば、寄の観光、新しい観光スポットの売り出しというふうなことでもね、非常にいいことだと思うんですよ。ホームページ、これから県のホームページのほうへ飛ばすように、飛ぶようにするというふうな、先ほど町長のほうから回答もらったんですけど、ぜひそれ早めにやっつてですね、もっともっとやどりき水源林というものをPRしていただけたら、もっといいんじゃないかなというふうに思います。

それで、町のほうのですね、この観光マップありますよね、これは次回は8月ごろですか。それにはもう少し細かい内容をですね、ぜひ載せてもらって、わかりやすくしていただきたいというふうに思います。それとあと、やどりき水源林、これがですね、毎月発行されてるんですね。ぜひ、このくらいはですね、町のほうにもパンフレットを置いてもらえれば、もう少し周知されるんじゃないかというふうに思いますので、こういうものに関してはどうなんでしょうか、可能なんですかね。

観光経済課長

ただいま御質問いただきました水源の森、そのニュース、それからパンフレットにつきまして、先ほどお話しさせていただきました6月3日に神奈川県森林インストラクター協会の方へ、その中の部会長さんとそれから事務局長さ

んにお会いしまして、やはり町とですね、もっとやっぱり我々もやはり密にや
っていききたいというようなお話をいただきまして、パンフレットについても至
急すぐに4日のときに届けていただきまして、ドッグランと管理センターのほ
うにお届けをさせていただきました。それから、水源の森のニュースにつきま
しても、町のほうにつきましては、一番最初にホームページ、メールで送らさ
せていただきまして、管理センターのほうにつきましては郵送で送らせてい
ただくということで、この前お約束をしていただきましたので、今後また管理
センターの中でも、パンフレット、水源林ニュース等を含めてPRをさせてい
ただきながら、町全体でやはり水源の森というのはやはり大きな観光資源の財
産でありますので、ただいま飯田議員、いろいろ提案していただいたことを町
のほうでも実施をしていきたいと考えております。以上です。

6 番 飯 田 その辺はですね、よろしく願いして、もっとあそこのやどりき水源林をで
すね、売り出してもらいたいと、町のほうにですね、お願いしたいと思います。

それとあとですね、県西地域活性化プロジェクトと、こういうのが県のほう
から出されてまして、この中にですね、食の恵みと産業のエリアというページ
があるんですね。これは、県のほうの、今のプロジェクトの展開というふうな
ことで載ってるんですけど、2市5町ですか、2市5町に食の恵みと産業のエ
リアということで、どういうものが対象としてあるかっていう地図があるんで
すけどね、中井町はパークゴルフ、大井町は四季の里、小田原市は朝ドレフ
ァーミ、小田原漁港、あと、おだわら諏訪の森公園、その辺があつてですね、あ
と、松田町と開成町と南足柄、この辺はですね、パークゴルフ場しかないんで
すね。それで、山北へ行きますと、山北つぶらの公園があつて、それと道の駅
山北がありますよね。それと、パークゴルフ場もあると、それとですね、森林
セラピーロードっていうのが山北の中で3カ所あるんですね、森林セラピーロ
ード。それで、これ森林セラピーの、先ほど言った6月3日にやったですね、
森林の中歩いて、森林浴してですね、免疫力アップしようというふうな取り組
みだと思うんですけど、こういうものをうまくね、あそこもうそういうコース
整備されてましたよね、されてますよね。だから、それをうまく載せるよう
なことはできないんですかね。ちょっと人のひさしを借りて商売するような感じ

になるんですけど、そういうのは可能なんですか。お願いします。

参事兼政策推進課長 それ県でつくってるものですけども、ドッグランがここでリニューアルオープンして、7月にグランドオープンをすると。ドッグランについては一応、寄の食を提供するというので、そこを食の駅ということで認められるように、今、申請中でございます。たしか、10月ごろにもう一度刷り直しということで、それには間に合うように、道の駅については申請をしております。森林セラピーでしたっけ、もう一つは。それについても、ちょっと間に合えば、観光経済とちょっと調整しまして、間に合うようでしたら載せられるように、すぐに追加をさせていただきます。

6 番 飯 田 せっかくある施設なんでね、これ利用しない手はないと思うんですよ。だから、本当に今あるものを最大限に利用してですね、もっともっと松田地区を活性化させなきゃいけないと思いますんで、そういうことを頭の中に置いてですね、今後、何度も言うようですけど、このやどりき水源林をですね、売り出してもらいたいと、町のほうでですね、積極的に。要望をしまして終わりとなります。どうもありがとうございました。

議 長 以上で受付番号第7号、飯田一君の一般質問を終わります。